

二酸化炭素の圧入実証試験を開始します。

平成 15 年 7 月 7 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野啓）は、平成 15 年 7 月 7 日より二酸化炭素（以下「CO₂」という）を地下 1,100m の帯水層へ貯留するための圧入実証試験を当社の岩野原基地（新潟県長岡市）で開始します。

同実験は、（財）地球環境産業技術研究機構（分室：（財）エンジニアリング振興協会）に協力し平成 12 年度から経済産業省の補助を受けて実施している「二酸化炭素地中貯留技術研究開発」プロジェクトの一環で、日本で初めて行われるものです。この地中貯留技術は、地球温暖化防止策として長期的な大気中の CO₂ 削減に寄与する可能性があります。

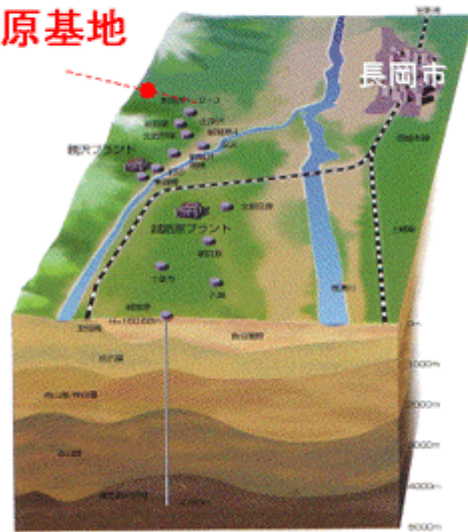
この実験にあたって当社では、平成 12 年より岩野原基地にて CO₂ を帯水層に圧入するための圧入井を掘削し、帯水層に圧入された CO₂ の広がり・移動状況などをモニタリングするための観測井を 3 本掘削、そして CO₂ 圧入に必要な圧入プラントを建設してまいりました。今後 CO₂ を帯水層に 1 日当たり約 20 トン（乗用車 1 台の年間排出量は約 4 トン）、平成 16 年までの約 1 年半をかけて約 1 万トンを圧入し、CO₂ の地層内での広がり・移動状況等の挙動を把握するとともに適用技術の安全性を実証するものです。

以上

圧入実証試験地点



岩野原基地



圧入実証試験におけるCO₂圧入概略図

